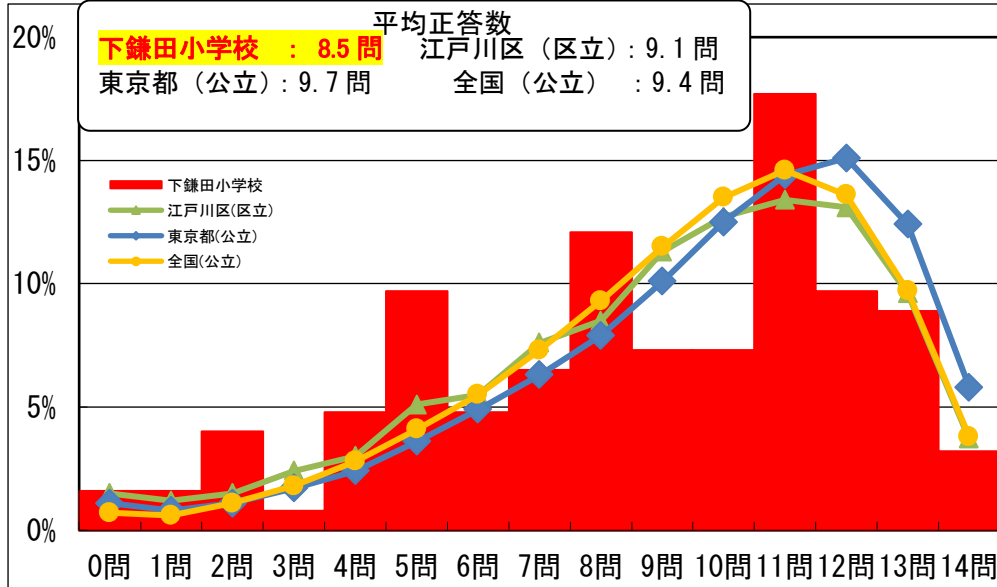


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 下鎌田小学校

## 正答数分布



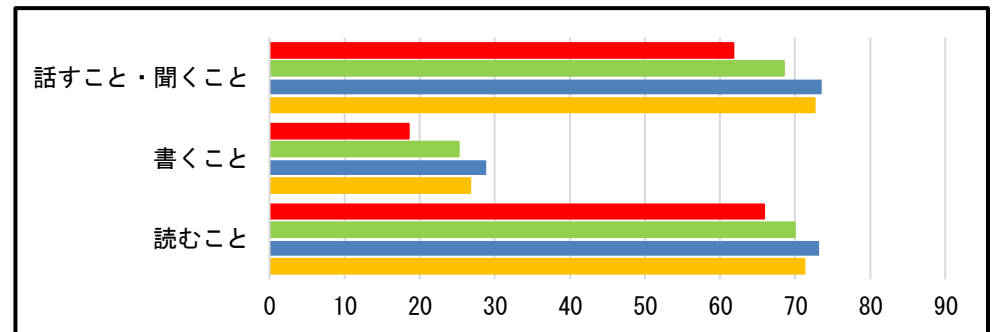
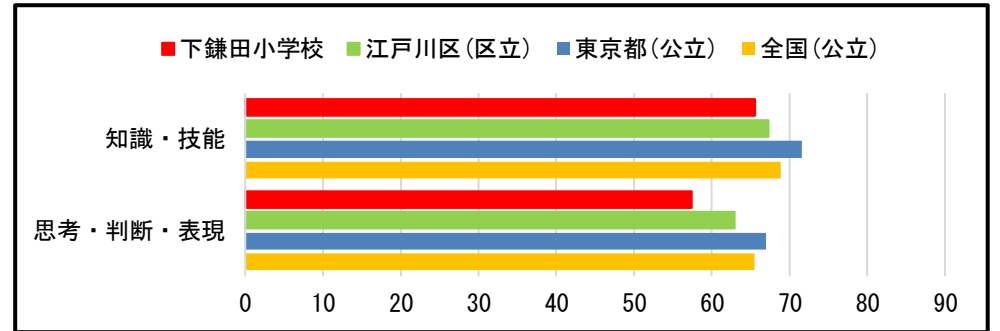
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
<b>下鎌田小学校</b>	<b>21.8</b>	<b>25.0</b>	<b>19.4</b>	<b>33.8</b>
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

<b>下鎌田小学校</b>	<b>61%</b>
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	<b>8ポイント</b>

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

国語の平均正答率は、都平均・全国平均どちらと比較しても下回っている。

設問ごとに見てみると、①文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうか、②必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうか、に関する設問に対する正答率が全国平均と比べ、本校は10%以上低くなっている。

「自分の考えもち、書く」「目的に応じて質問等をしながらか聞く」ことの指導の充実を図っていく必要がある。